



# #旭川活性化活動

500

167 49 76

213

～旭川に来たれヤングメン～

北海道旭川西高等学校 2年

## 1. 背景・目的

旭川を若者もたくさん訪れるような活性化した町にする。

## 2. 仮説

インスタグラムに、旭川の魅力を発信するアカウントを作り、情報を随時更新していけば、旭川情報が広まり、人がたくさん来る。

## 3. 検証方法

- ①旭川市の様々なパンフレットと、昨年度のインスタグラムに関する課題探究を参考に、若者の目に留まるような、旭川の魅力を発信するインスタグラムアカウントの案を製作する。
- ②作成した案を、旭川市役所の広報広聴課の方に提案し、ご意見をもらう。

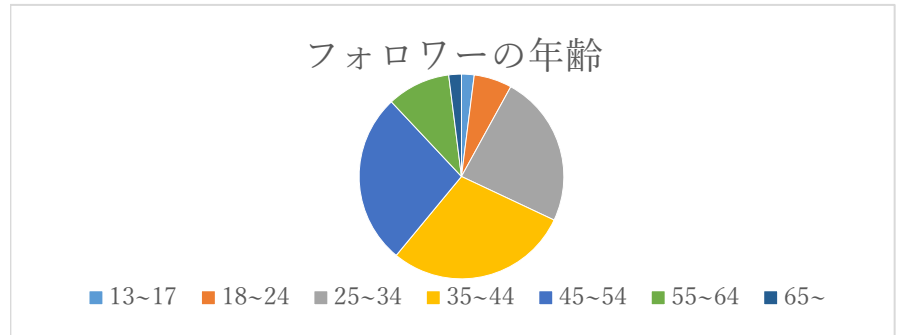


## 4. 検証結果

私たちの考えた以下の仮説のうち、次の3つを市のアカウントで実証してもらった。その結果である。

- ・Repost（フォロワーの投稿を引用）機能を使う
- ・オリジナルのハッシュタグを作り、フォロワーにそのタグを使った投稿をしてもらう
- ・パッと見てわかりやすいアイコンを使う

### ◆フォロワーの年齢



### ◆フォロワー

一週間に100人程度ずつ増加

### ◆いいね

最小：18（9月11日）

最大：293（11月18日）

### ◆閲覧数

最小：41（10月8日）

最大：1730（11月25日）

増加!!

増加!!

### ◆その他

一部の市街在住のフォロワーから旭川を懐かしむコメントもある

## 5. 考察

いいねや閲覧数が、日を重ねるにつれて増えていることから、私たちの提案した案を実証して進めているアカウントで、順調にいい結果がでているので、このまま進めれば旭川の魅力がたくさんの人に伝わると考えた。しかし、現在のフォロワーは旭川の人が多く、また年齢層も高いことから、市外の若者を旭川に招くにはまだ改善が必要である。これから、市の施設や店と協力してキャンペーンなどを実施し、フォローする利点を作ると、さらに旭川外や幅広い年齢層のフォロワーも増え、旭川に若者がたくさん来ると考える。

## 7. まとめ

パンフレットや昨年度の探究の資料をもとに自分たちで仮説を立て、それをまさか実際に市役所の方と協力して実施できるとは思わなかった。結果として具体的な数値を得ることができて、自分たちの考えが少しでも旭川の観光発展に貢献できてよかった。

## 6. 参考文献

平成30年度本校課題探究「"いいねの真相"」、旭川商工会観光アンケート、旭川市パンフレット

## 8. 謝辞

最後に、この研究に携わっていただいた角田先生、旭川市役所広報広聴課のみなさま、本当にありがとうございました！！